



YAMAHA

CDR-HD1000

アップデート&タイマー録音関連機能説明書

はじめに

本書は、CDR-HD1000に新機能をアップデートする方法と、新機能の使いかたを説明するものです。

アップデートによる追加機能および仕様変更は以下のとおりです。

■ タイマー録音機能

外部タイマー使用によるタイマー録音が可能になりました。

■ シンクロ録音の機能アップ

従来は、外部入力ソースを“Multi Sync”、または“All Synchro”モードで録音した場合、ハードディスク(HDD)上のディスク間をまたいだ録音ができなかったため、99分59秒を超えた録音ができませんでした。今回、アップデートにより、HDD上のディスクをまたいだ録音が可能となったため、長時間のシンクロ録音が可能となりました。

■ シンクロ録音時の曲間自動判断設定

シンクロ録音をおこなう際に、本機が曲間を自動判断する条件を設定できるようになりました。

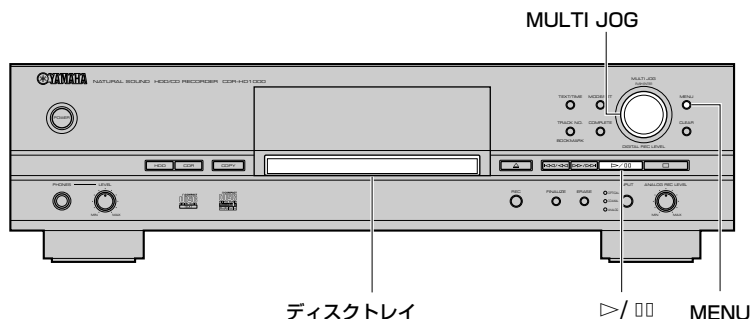
“曲間(無音)”と判断する信号レベルを、入力端子ごとに設定できます。また、“無音”と判断するための無音継続時間を、全ての入力端子共通に設定できます。

目次

ファームウェアのアップデート方法	2
タイマー録音のしかた	3
録音時間設定上の注意	3
タイマー録音の設定方法	4
タイマー録音の設定を解除する	5
タイマー録音の設定を変更する	5
シンクロ録音の新機能	6
HDDへのシンクロ録音に関する仕様変更	6
シンクロ録音時の条件設定	6
シンクロ録音の条件設定方法	7

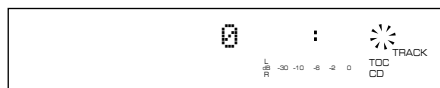
ファームウェアのアップデート方法

アップデートディスクを使用して、本機のファームウェアをアップデートします。アップデート完了後、新機能の使用が可能になります。新機能の使い方については、P.3以降を参照してください。



1. ファームウェアが入ったディスクを用意します。

2. ディスクトレイを開け、ファームウェアが入ったディスクをセットし、閉じます。
“Reading” と表示され、しばらくたつと以下の表示になります。



3. MENUボタンを押します。

ディスプレイがメニュー項目選択の表示になります。

4. MULTI JOGノブを回して、“Sys. Utility”を選択します。

5. MULTI JOGノブを押します。

ディスプレイがシステムユーティリティ項目選択の表示になります。

6. MULTI JOGノブを回して、“Firm. Update”を選択します。

7. MULTI JOGノブを押します。

ディスプレイに“Main FW (CD)”と表示されます。

8. もう一度、MULTI JOGノブを押します。

ディスプレイに“Push PLAY_KEY”と表示されます。

9. ▷/|| ボタンを押します。

ディスプレイに“Downloading”と表示され、ファームウェアのアップデートを開始します。

ご注意

- アップデートは約20秒ほどかかります。途中で電源を切らないでください。

アップデートが完了するとディスプレイに“Complete”と表示され、電源を入れた時の表示になります。

10. ファームウェアの入ったディスクを取り出します。

以上でファームウェアのアップデートは終了です。

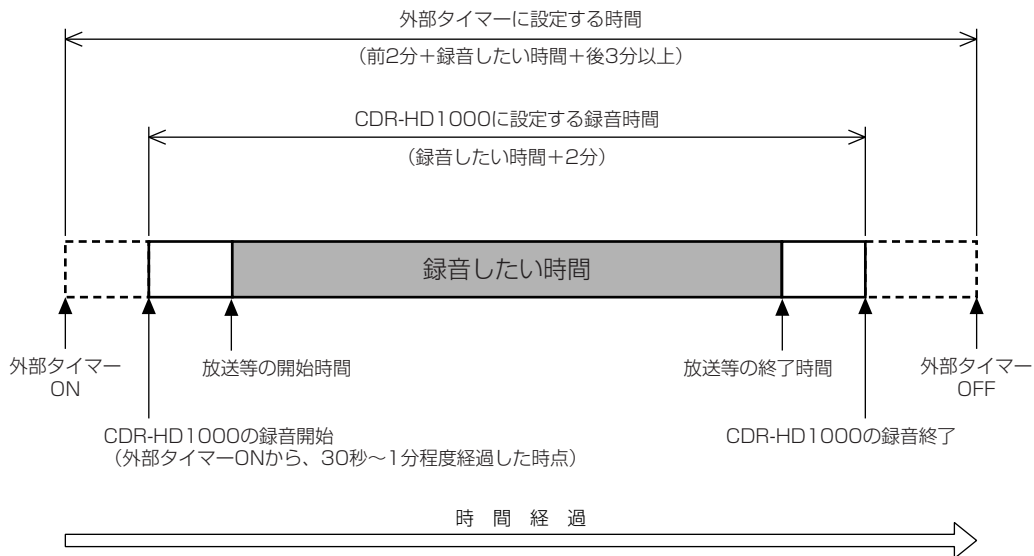
タイマー録音のしかた

- ・本機には時計機能が内蔵されていません。タイマー録音をおこなう場合、外部機器のタイマーを使用してください。
- ・タイマー録音では、曲間を自動検出してトラックを更新する“Synchro”モードと、設定した時間ごとにトラックを更新する“Auto Period”モードで録音できます。

録音時間設定上の注意

- ・外部タイマーにより本機の電源が入ってから、実際に録音が始まるまでには30秒から1分程度かかります(状況により変動します)。その間は録音が行われませんので、**外部タイマーにより電源を入れる時間は、録音したい放送等の開始時間から2分前に設定してください。**
- ・ハードディスク(HDD)レコーダーの特性として、録音する音声データのほかに、そのデータを管理するための情報を記録する必要があります。この管理情報は通常、録音が停止したときに記録されるため、録音停止前に電源が切れると、録音した音声データは記録されません。**外部タイマーにより電源を切る時間は、録音したい放送等の終了時間から3分以上後に設定してください。**
- ・本機の録音トータル時間は、実際に録音したい時間に2分加えた時間を設定してください。
- ・タイマー録音の設定は、外部タイマーにより電源を切ったあと、1回の録音に限り有効です。

以下の図は、本機でタイマー録音するときの時間の流れを示したものです。



例

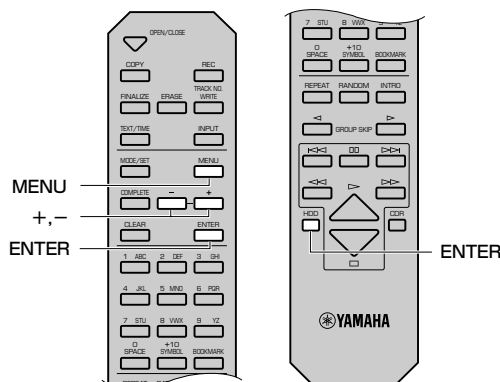
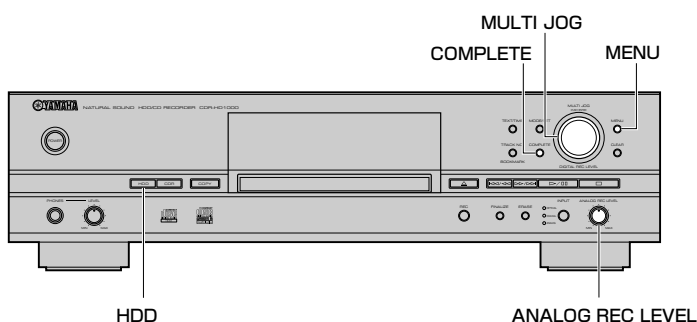
<9:00から10:00までの番組を録音する場合>

- ・外部タイマーの電源が8:58にONになるよう設定します。
- ・外部タイマーの電源が10:03以降にOFFになるように設定します。
- ・本機の録音トータル時間は1時間2分に設定します。

メモ

- ・実際に録音されたものは、録音したい部分の前後に若干の余分な部分が録音されています。不要な部分は編集操作によって削除してください。
- ・タイマー録音中にデジタル入力信号の録音禁止信号(コピーガード信号など)が入力されると、録音が停止します。
- ・BSデジタル放送等のAAC信号が入力されると、録音が停止します。BSデジタル放送を録音する場合は、チューナーのデジタル出力設定をPCM固定にしてください。

タイマー録音の設定方法



1. 停止状態で、HDDボタンを押してハードディスク(HDD)を選択します。
2. MENUボタンを押します。
ディスプレイがメニュー項目選択の表示になります。
3. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、“Set REC Timer”を選択します。

Set REC Timer

4. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押します。
録音のトータル時間の設定が表示されます。

Total? 1h 2m

5. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、録音するトータル時間を設定します。
6. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、録音するトータル時間を確定します。
7. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、録音モードを選択します。
“Synchro”モード.....曲間を自動検出してトラックを更新します。

Mode? Synchro

“Auto Period”モード....設定した時間ごとに自動的にトラックを更新します。長時間録音の内容をサーチするときなどに便利です。

Mode? Period

8. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、録音モードを確定します。
“Synchro”モードを選択した場合は、手順11に進みます。
“Auto Period”モードを選択した場合は、手順9に進みます。
9. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、トラックを更新する時間間隔を設定します。
10秒から30分の範囲で、10秒ステップで設定できます。

Period? 300

10. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、トラックを更新する時間間隔を確定します。

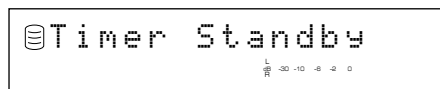
11. 入力信号と録音レベルを設定します。
本機は、前回録音したときに選択した入力ソースを記憶しています。入力ソースを変更する場合は、INPUTボタンで入力を変更してください。
• 入力がOPTICALまたはCOAXIALの場合は、ディスプレイがレベル設定表示になります。MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、録音レベルを調節します。

Level 0.0dB LEVEL

- 入力がANALOGの場合は、ディスプレイが“Input & Level”の表示となります。ANALOG REC LEVELツマミで録音レベルを調節します。

Input & Level

- 12.** MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押すか、またはCOMPLETEボタンを押します。
ディスプレイに“Timer Standby”と表示され、タイマー録音の設定が終了します。



ご注意

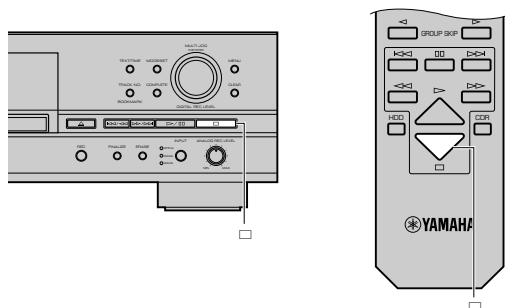
- 設定の解除や変更は、外部タイマーにより電源を切る前に行ってください。

- 13.** 本機の電源をONにしたまま、外部タイマーによって電源を切ります。
本機に再度電源が入ると、設定に従って録音が始まります。

メモ

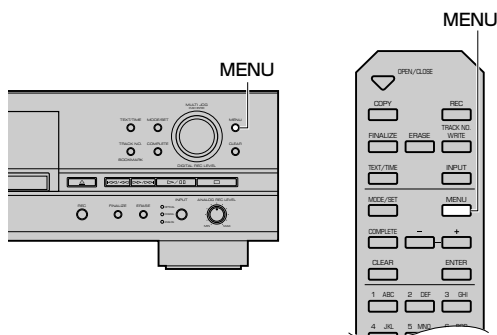
- タイマー録音の設定は、外部タイマーにより電源を切ったあと、1回の録音に限り有効です。

タイマー録音の設定を解除する



“Timer Standby”表示中に、□ボタンを押してください。

タイマー録音の設定を変更する



“Timer Standby”表示中にMENUボタンを押してください。
「タイマー録音の設定方法」の手順3までさかのぼって設定の変更ができます。

HDDへのシンクロ録音に関する仕様変更

従来、“Multi Sync.”および“All Synchro”モードでは、HDD上でのディスクをまたぐ録音ができなかったため、99分59秒を超えて録音することができませんでした。

ファームウェアのアップデートにより、HDD上でディスクをまたいで録音ができるようになりました。99分59秒を超えて録音する場合は、自動的にディスクを更新して、次の空いているディスクに録音されます。

メモ

- この仕様変更による操作の変更はありません。
- ディスクをまたいで録音を行った場合でも、ディスクの変わり目で音が途切れることはありません。

シンクロ録音時の条件設定

曲間を自動検出してトラックを更新する“Multi Sync.”、“All Synchro”、および“Full Auto”モードで、曲間の検出条件を設定できます。

設定できるものは以下のとおりです。

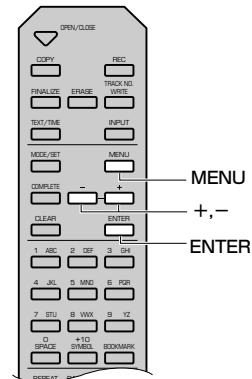
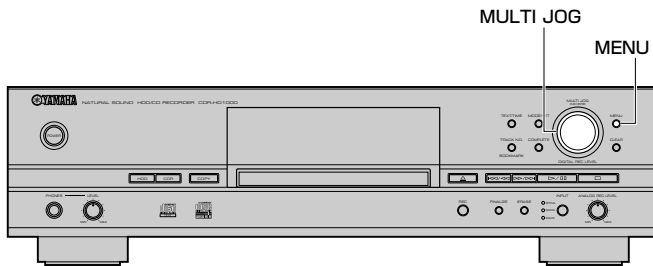
- OPTICAL入力の信号を“信号なし”と判断する最小レベル
- COAXIAL入力の信号を“信号なし”と判断する最小レベル
- ANALOG入力の信号を“信号なし”と判断する最小レベル
- “信号なし”と判断する時間間隔(無音検出時間)

信号レベルは、入力端子ごとに、1 dBステップで設定できます。信号レベルの初期値と、可変範囲は以下のとおりです。

入力	初期値	可変範囲
OPTICAL	−90dB	−90〜−20dB
COAXIAL	−90dB	−90〜−20dB
ANALOG	−40dB	−60〜−20dB

無音検出時間は、0.5〜5.0秒の範囲で、0.5秒ステップで設定できます。

シンクロ録音の条件設定方法



1. 停止状態で、MENUボタンを押します。
ディスプレイがメニュー項目選択の表示になります。
2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)“Synchro Setup”を選択します。

Synchro Setup

3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押します。
ディスプレイが設定項目選択表示になります。
4. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)設定項目を選択します。
設定項目は以下のとおりです。

- OPTICAL入力の信号を“信号なし”と判断する最小レベルの設定

OPT TH Level

- COAXIAL入力の信号を“信号なし”と判断する最小レベルの設定

COAX TH Level

- ANALOG入力の信号を“信号なし”と判断する最小レベルの設定

ANLG TH Level

- “信号なし”と判断する時間間隔

Int. Time

5. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、項目を確定します。
 - “OPT TH Level”、“COAX TH Level”、“ANLG TH Level”を選択した場合は、手順6、7に進みます。
 - “Int.Time”を選択した場合は、手順8、9に進みます。

6. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)レベルを設定します。

例

「ANLG TH Level」を選択した場合

ANLG TH -40dB

7. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、レベルを確定します。
“OPT TH Level”、“COAX TH Level”を選択した場合も同様です。
8. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)時間を設定します。

Time 3.0sec

9. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、時間を確定します。

レベルまたは、時間を確定するとディスプレイが設定項目選択表示に戻ります。
MENUボタンを2回押すと、通常の停止状態に戻ります。設定した条件はHDDに保存されます。